

令和元年度 教育部運営方針

教育部長 丸山 理佳

基本方針（政策目標）

教育部は、学校などの教育機関を管理し、学校の組織編制や教育課程、教科書の取扱いなどの事務を行うとともに、社会教育や学術・文化、青少年育成やスポーツ振興に関する事務の管理・執行を行うなど、教育行政を担います。

施策の推進にあたっては、「泉大津市教育振興基本計画」「泉大津市生涯学習推進計画」「平成31年度学校園に対する教育方針」に基づき、総合的・計画的で先進的な教育行政の推進を図ります。

- ①次期学習指導要領の円滑な実施に向けて、児童・生徒の新しい時代に求められる資質・能力を育成するため、様々な教科・領域等における指導方法等の研究・推進に努めます。
- ②教育みらい構想に基づき、小津中学校区において小中一貫校の設置をめざし、教職員の意識の醸成と9年間を通した取組みの充実を図るとともに、コミュニティスクールを通じて学校と地域が連携・協働した、地域とともにある学校づくりを推進します。
- ③能力開発教育など、人材育成に資する先端教育に触れる機会の拡充を図ります。
- ④「読書量日本一のまちづくり」に向けた環境整備として、令和3年4月の開館をめざし市立図書館を泉大津駅前の商業施設に移転・整備します。今年度は設計業務を実施し、知の拠点として図書館機能の強化を図るとともに、本市の魅力発信機能や交流、イノベーションを生み出す機能の整備を検討します。あわせて、本市の地域全体をまちぐるみ図書館とする取組みを段階的に進めます。
- ⑤中学校給食について、小中学校の9年間を通じた食育の推進の観点などから、全員喫食による食缶のデリバリー方式で9月より開始します。
- ⑥校務支援システムの機能を効果的に活用し、業務の標準化及び最適化を推進することで、教職員間の情報共有のあり方等の見直し・改善を図り、より良い授業づくりや子どもと向き合う時間の確保に努めます。
- ⑦子育て世代にターゲットをしぼり、子どもが参加したくなる運動あそび教室や啓発イベントを実施し運動習慣の促進を図ることで、子育て世代や子どもの体力向上に寄与します。